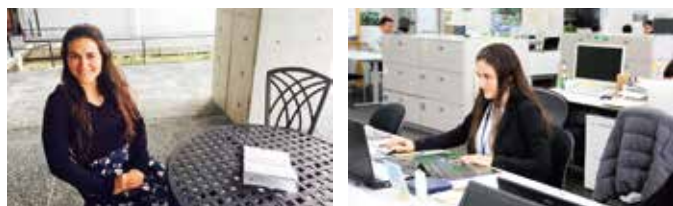




日本で観光の仕事をしたい!
豊岡で夢をかなえる

ジャド・ユネズさん(24歳)小田井



1月に本市のCIIR(国際交流員)に着任したフランス・モンペリエ出身のジャド・ユネズさん。大交流課でインバウンド(外国人観光客誘致)事業や城崎国際アートセンターの事業に携わっています。

観光客の案内を経験。観光の仕事をしたと思うようになりました。

全く違う環境での新生活に不安もあります。しかし「どんな仕事をしたいか、どこで働きたいかを何年もかけて一つずつ考えて、やっと見つけた夢をかなえたい」その思いで豊岡にきました。家族の応援にも支えられています。

「豊岡が日本で一番好きなきなまちになるかもしれない。たくさんさんの思い出を作っていきたい」とこれからの生活に期待が膨らみます。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲豪華景品を狙い抽選に臨む

第27回とよおか津居山港かにまつり 海と自然の恵みに感謝!

2月25日、津居山港小島岸壁で「第27回とよおか津居山港かにまつり」が開催されました。

冬の味覚の王様「津居山かに」をはじめ、但馬の山海の幸が楽しめる人気イベントで、約1万人の来場者でにぎわいました。

「素人新鮮うまいもの競り市」では、通常1万円以上する津居山かにかが、3千円から8千円で競り落とされ、落札者は大喜び。豪華特産品が当たる「大抽選会」も、用意した550枚の抽選券が30分あまりで完売するなど大盛況でした。

また、かにまつりに合わせて海上自衛隊のミサイル艇「うみたか」が寄港。艇内の一般公開が行われ、こちらも長蛇の列ができる人気ぶりでした。

こころをつなぐ市民集会

お互いの気持ちの段差がなくなれば

2月25日、ひぼこホールで、出石地域こころをつなぐ市民集会が開催され、約200人の市民らがバンド「リラックス」のコンサートを通して、障害のある方の日常などについて考えました。

障害がある方の詩に曲を付けて歌う活動をしているリラックス。この日は、車いすへの感謝や母への応援、自らを鼓舞する詩などを歌いました。また、詩を書いた小林 聡さん(大阪市)がゲストとしてステージに上がり、詩や自身の脳性まひについて説明。「心のバリアフリーで、お互いの気持ちの段差がなくなれば」と話しました。

最後は全員で「翼をください」を歌い、会場全体が温かい雰囲気になっていました。



▲リラックスと小林さんが一緒に曲を披露